

第254号

平成25年  
6月23日

# すまいるたん



発行元  
東京新聞  
南千住専売所  
Tel.3803-1781  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
Tel.090-2657-0300

早起きは三文の得 ゆるゝい  
歓談の場 朝カフェの会

## 「早起きしよう」

鈴木拓さんが始めた朝カフェの会は、昨年8月に町屋から、ロコミで広がり、北海道、東北、関東、関西、ベトナムと40ヶ所で開かれております。

南千住では、コツ通り商店街の「あいるとんかふえ」で毎月第三金曜日の午前7時半～9時頃に開かれています。参加者は、主婦、会社員、学生、高齢者など地元の方が7割です。草加市から参加される方もいます。

## 「誰でも参加自由です」

朝カフェの会は、朝食や朝のコーヒーの時間を共に過ごして、情報を交換し、共感し、お互いの人生を豊かにしていくための場所です。参加費は自分の飲食代のみです。途中参加・途中退席自由で、時間に縛られことなく、強制されることなくゆるく参加していただけます。参加のルールはたった一つ、お互いに人の嫌がることをしないことです。

かつては、向こう三軒両隣りと地域と個人や個人同士の繋がりが強かったので

すが、近年では少子高齢化や核家族化の進行などによって世帯構造が変化する中で、地域活動に関心があっても参加できないなど、地域社会の希薄化が見られます。また、インターネットやメールの普及によって顔の見えない繋がりを持つ人も増えてきました。

## 「インターネットが無くなくても残る人間関係ができます。」

朝カフェの会は、顔を見て人の繋がりを保持する場所です。性別・年齢・しよ害のある無しに関わらず、新しい人間関係ができます。そこで得た何気ない情報は、役に立つかもしれません。

このところ会場がどんどん増えてきて、荒川発の取り組みがこうして全国、そして世界に広がっていくことは素晴らしいことです。

## 「早起きは三文の徳」

会場となる【あいるとんかふえ】のブレンドコーヒーは、300円です。注文を受けてから厳選された豆をひき、1杯ずつネルを使ってハンドドリップでゆっくり抽出されます。コーヒーの他に紅茶、昆布茶もあります。料金に満足、味に満足、空間に満足できる明るいお店です。穏やかな至福な時間を過ごしてみませんか。

三文の小さな徳は、いずれ大きな花を咲かせるかもしれません。朝の繋がりは大きく育ち、将棋部や映画部、ランニング部などの部活動も始まっています。

## 「朝カフェの会を開催したい」

ドイツから連絡を受けてびつくりしたと創設者の鈴木さんは仰っていました。取材した当日は、朝カフェの会の参加者の提案で国会議事堂見学に出かけるとのことでした。

月1回、早起きして参加しませんか。行動に移してこそ、新しい繋がりが生まれます。今までの繋がりと別な新しい繋がりは、人生の大きな糧となることでしょう。事前申込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。



南千住駅

お問合せ 3819-3516

アクレステイ

コツ通り

あいるとんかふえ

南千住7-2-15

電話 3801-9008